

The logo for TOK, consisting of the lowercase letters 'tok' in a bold, orange, sans-serif font. The background of the slide is a gradient of orange with a pattern of white and light orange hexagons of varying sizes and opacities.

東京応化工業株式会社 決算説明会資料

-2017年3月期決算-

2017年5月10日

目次

1. 2017年3月期業績説明 p.2
2. 2017年12月期業績予想説明 p.13
3. tok中期計画2018の取組み p.23

2017年3月期業績説明

tok

© 2017 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.



業績概要

03

(百万円、%)

	2016/3	2017/3	
		増減	増減率
売上高	89,969	88,764	△1,204 △1.3
営業利益	12,438	9,954	△2,483 △20.0
経常利益	12,684	9,867	△2,817 △22.2
親会社株主に 帰属する当期純利益	7,716	6,343	△1,373 △17.8

- 期中平均為替 (USドル) : 119.3円/ドル (2016/3) ⇒ 107.1円/ドル (2017/3)
- 売上高 : 修正予想 (2016.10.27公表) を上回ったものの、装置事業の減収等の影響から、前年比△1.3%の減収。
- 営業利益 : 円高等による材料事業の減益、装置事業の赤字拡大から、減益。
- 当期純利益 : 営業利益の減益に、為替差損等の発生が加わり減益。

営業外損益・特別損益

04

(百万円)

	2016/3	2017/3	前年比
営業外損益	246	△87	△333
受取利息・配当金	+287	+277	△10
(為替に係る差損益)	(△371)	(△885)	△514
為替差損益	△642	△445	+196
デリバティブ評価損益	+270	△439	△710
持分法による投資損益	+219	+126	△93
操業準備費用	△339	-	+339
特別損益	△906	△647	+259
投資有価証券売却益	+50	+265	+215
減損損失	△752	△678	+74
災害による損失	-	△91	△91

事業別セグメントの業績

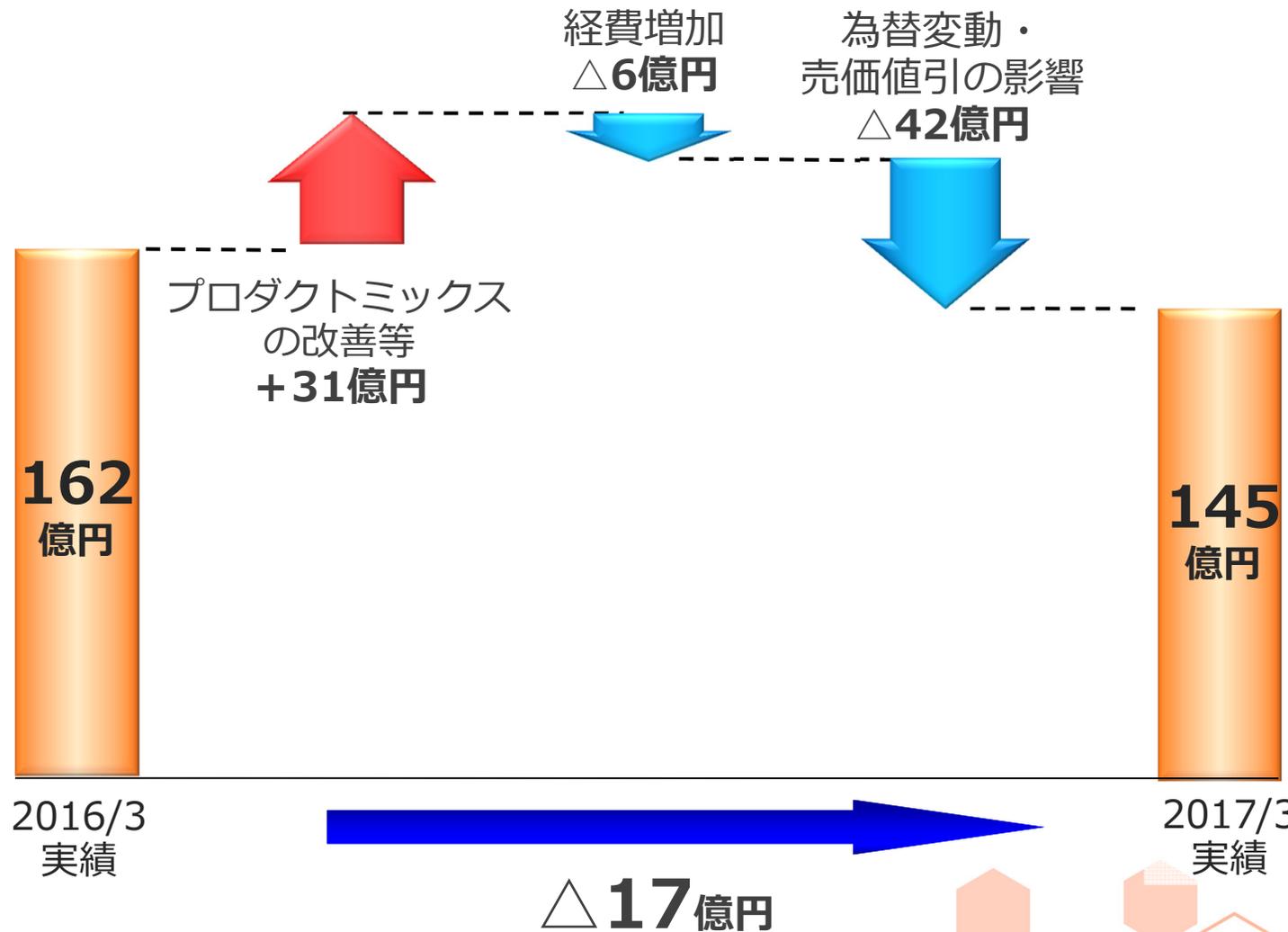
05

(百万円、%)

	2016/3	2017/3	
		増減	増減率
売上高	89,969	88,764	△1,204 △1.3
材料事業	87,280	86,558	△721 △0.8
エクシオ機能材料	51,134	53,074	+1,940 +3.8
高純度化学薬品	35,931	33,475	△2,456 △6.8
その他	214	9	△204 △95.6
装置事業	2,689	2,205	△483 △18.0
営業利益	12,438	9,954	△2,483 △20.0
材料事業	16,203	14,470	△1,733 △10.7
装置事業	△423	△750	△327 -
消去又は全社	△3,342	△3,764	△422 -

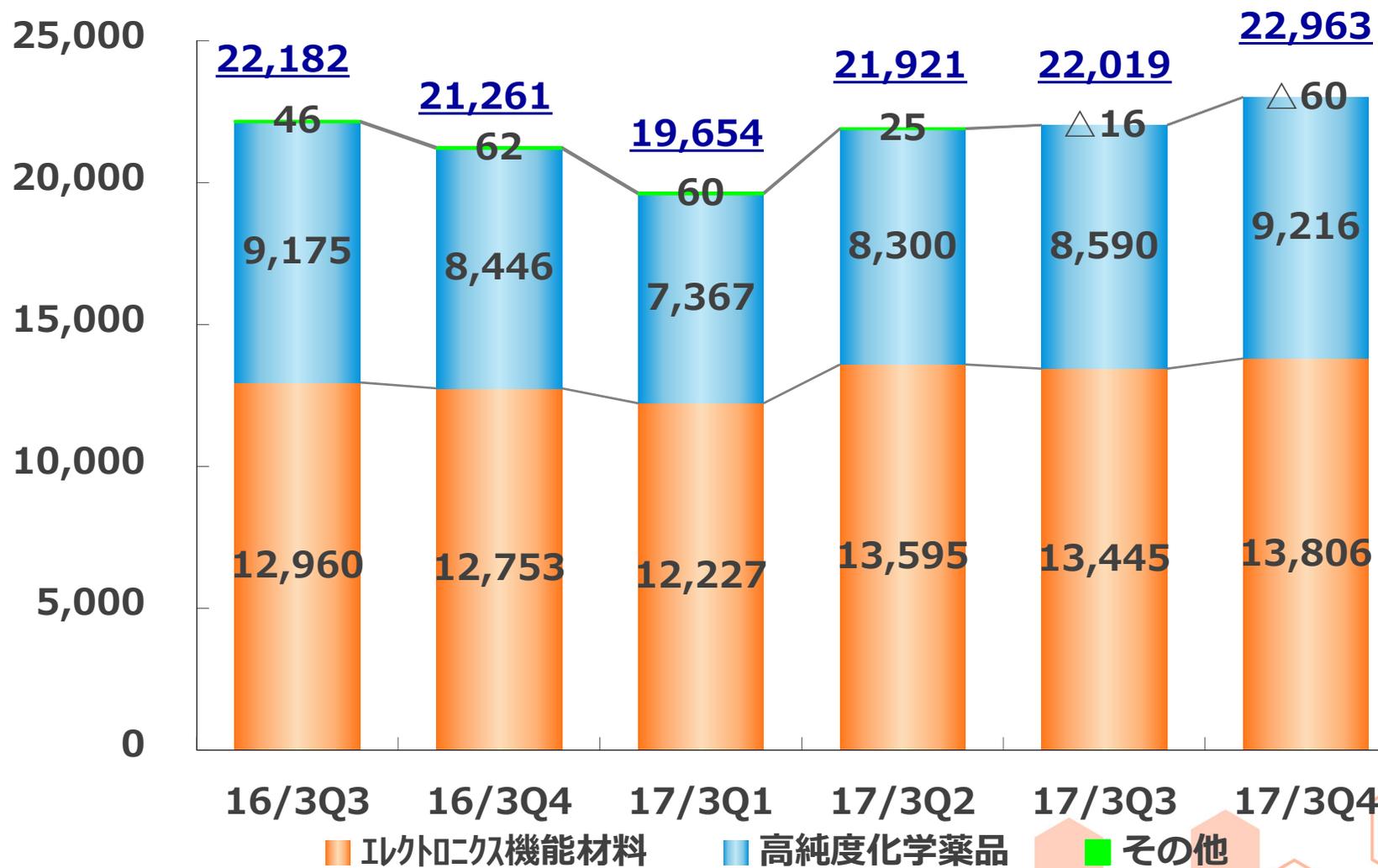
営業利益の増減内訳（材料事業）

2016年3月期実績 対 2017年3月期実績



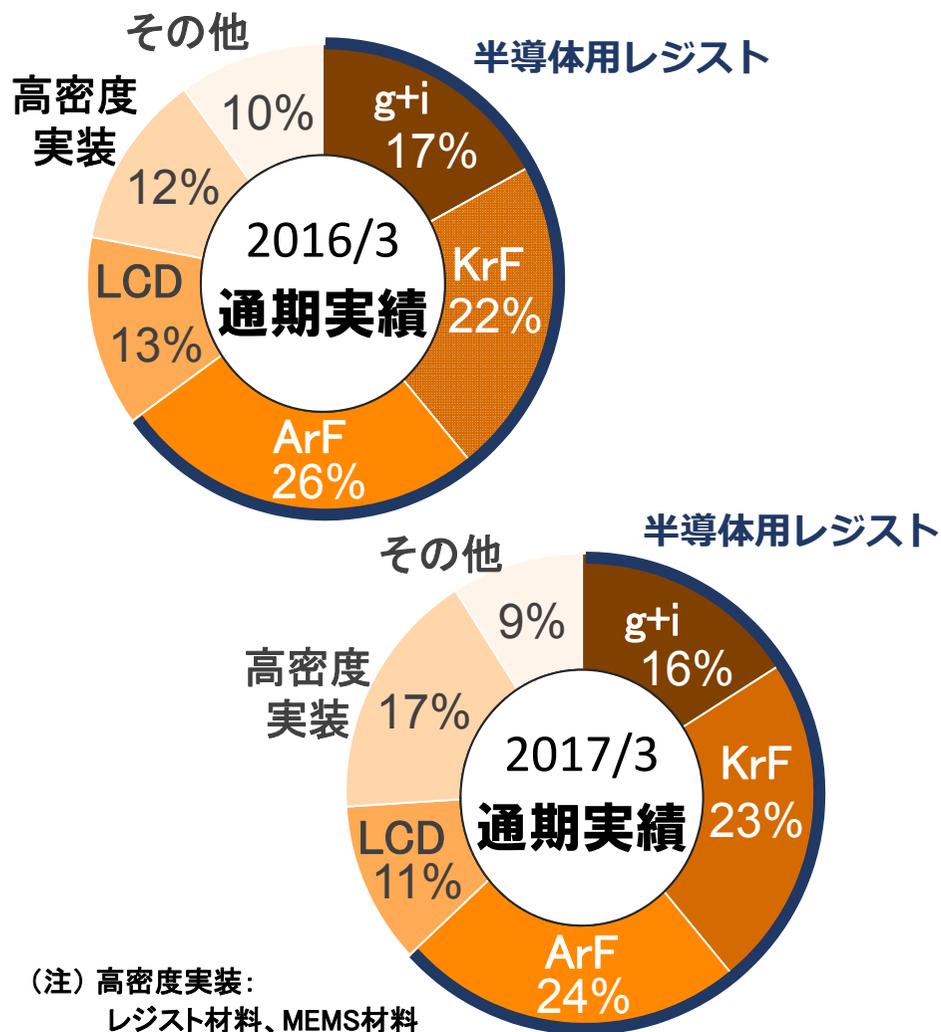
材料事業の売上内訳

売上高 (百万円)

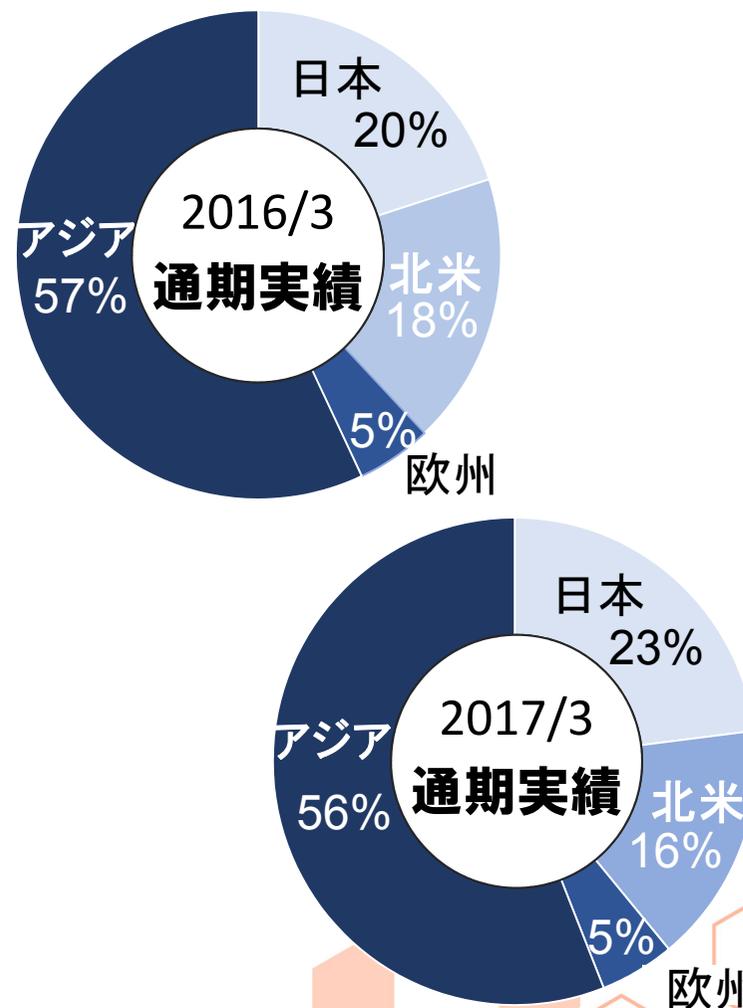


エレクトロニクス機能材料部門

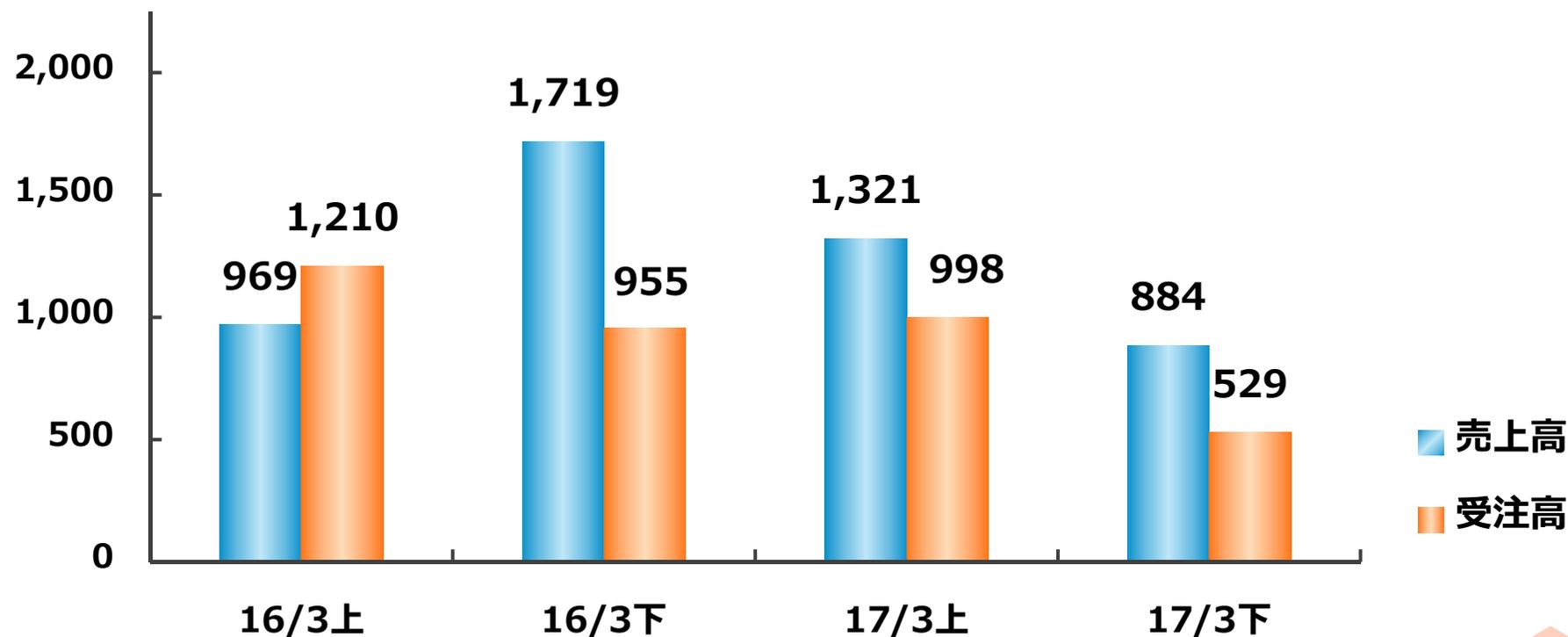
エレクトロニクス機能材料の種類別売上構成



半導体用レジストの地域別売上構成

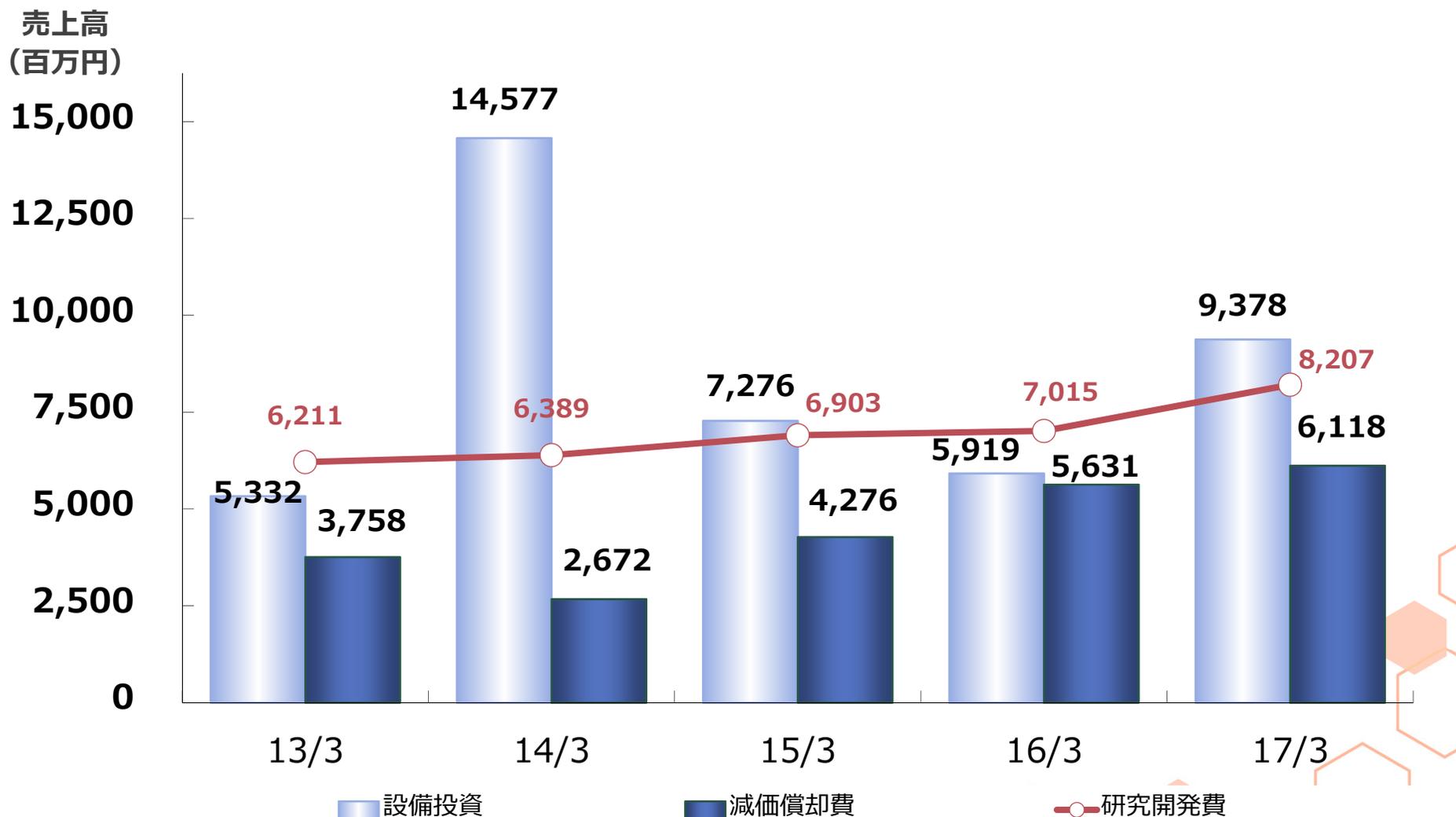


売上高・受注高
(百万円)



(百万円)	16/3上	16/3下	17/3上	17/3下
期末受注残高	1,440	1,140	1,016	966

設備投資・減価償却・研究開発



比較貸借対照表

(百万円)

	2017/3	16/3末比
流動資産	88,647	+1,533
現金預金	49,663	△1,212
売上債権	19,893	+1,972
たな卸資産	13,613	+613
有形固定資産	49,666	+1,752
無形固定資産	640	△108
投資その他の資産	35,537	+4,013
流動負債	19,536	+2,405
買入債務	9,607	+1,819
固定負債	2,024	△874
純資産合計	152,931	+5,660
総資産	174,492	+7,192

建物及び構築物	△36
機械装置	+1,067
工具器具備品	+806
土地	△121
建設仮勘定	+37

利益剰余金	+3,349
自己株式	+1,153
その他有価証券評価差額金	+1,860
為替換算調整勘定	△1,290

キャッシュフロー

12

(百万円)

	2016/3	2017/3
営業キャッシュフロー	+11,902	+12,476
税金等調整前当期純利益	+11,777	+9,220
減価償却費	+5,631	+6,118
貸倒引当金の増減(△)額	△18	+180
売上債権の増(△)減	+1,200	△2,124
たな卸資産の増(△)減額	△1,755	△915
仕入債務の増減(△)額	△1,522	+1,836
前受金の増減(△)額	△5	+327
法人税等の支払い	△4,157	△2,567
投資キャッシュフロー	△4,385	△13,402
財務キャッシュフロー	△9,268	△2,324
換算差額	△298	△358
現金及び現金同等物の増減(△)額	△2,049	△3,608

主な内訳
有形固定資産の取得 △9,008

主な内訳
自己株式の売却による収入 +823
配当金の支払 △2,769
(含む非支配株主)

2017年12月期業績予想説明

tok

© 2017 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.



決算期の変更について

■ 決算期変更の内容

現在：毎年3月31日 ⇒ 変更後：12月31日

			2017/3				2017/12			2018/12			
	3Q 10-12月	4Q 1-3月	1Q 4-6月	2Q 7-9月	3Q 10-12月	4Q 1-3月	1Q 4-6月	2Q 7-9月	3Q 10-12月	1Q 1-3月	2Q 4-6月	3Q 7-9月	4Q 10-12月
3月決算会社（TOK・国内子会社）			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q
12月決算会社（海外子会社）		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q

■ 業績予想の説明について

- 2017/12予想（短信ベース）の説明を中心に行います。
- 2017/3決算を、国内：4月～12月、海外：1月～12月を対象期間として補正したものを「2016/12実績補正」として、比較。

			2016/12実績補正				2017/12予想				2018/12			
	3Q 10-12月	4Q 1-3月	1Q 4-6月	2Q 7-9月	3Q 10-12月	4Q 1-3月	1Q 4-6月	2Q 7-9月	3Q 10-12月	1Q 1-3月	2Q 4-6月	3Q 7-9月	4Q 10-12月	
国内（3月決算）			1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
海外（12月決算）		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	

（注） 決算期の変更は、2017年6月開催予定の第87期定時株主総会での承認が条件となります。

業績予想：従来ベースと決算期変更①

15

2017年3月期の減収・減益から、業績は拡大基調に転換

(百万円、%)

	2017/3 実績	2018/3 (従来ベース)		2017/12 予想
		予想	増減率	
売上高	88,764	98,500	+11.0	88,800
営業利益	9,954	11,100	+11.5	8,400
経常利益	9,867	11,400	+15.5	8,600
親会社株主に 帰属する当期純利益	6,343	7,200	+13.5	4,900

(注) 2018/3 (従来ベース) 予想とは、決算期変更を行わなかった場合における、国内会社：4～3月の12カ月、海外会社：1～12月の12か月間を対象期間とした試算値。
決算期変更に伴う一時的な費用計上は見込まれていません。

業績予想：従来ベースと決算期変更②

16

(百万円、%)

	2017/3 実績	2018/3(従来ベース)		2017/12 予想
		予想	増減率	
売上高	88,764	98,500	+11.0	88,800
材料事業	86,558	94,700	+9.4	86,100
Ileクトニクス機能材料	53,074	56,100	+5.7	49,600
高純度化学薬品	33,475	38,500	+15.0	35,900
装置事業	2,205	3,800	+72.3	2,700
営業利益	9,954	11,100	+11.5	8,400
材料事業	14,470	15,300	+5.7	12,000
装置事業	△750	△500	-	△600
消去又は全社	△3,764	△3,700	-	△3,000

(注1) 装置事業の売上は消去後の数字。

(注2) 2018/3(従来ベース) 予想とは、決算期変更を行わなかった場合における、国内会社：4～3月の12カ月、海外会社：1～12月の12か月間を対象期間とした試算値。決算期変更に伴う一時的な費用計上は見込まれていません。

業績予想概要 (通期)

17

業績は拡大基調だが、**決算期変更の影響**から減益決算を予想

(百万円、%)

	2016/12 実績補正	2017/12予想		
		増減	増減率	
売上高	80,761	88,800	+8,038	+10.0
営業利益	9,310	8,400	△910	△9.8
経常利益	9,119	8,600	△519	△5.7
親会社株主に 帰属する当期純利益	5,485	4,900	△585	△10.7

(注) 2016/12実績補正は、2017/12業績予想と比較できるように、3月決算会社(当社および国内連結子会社)の2017/3業績を、9カ月(2016/4~12月)として補正した試算値です。

- 期中平均為替 (USドル) : 105.4円/ドル (2016/12) ⇒ 110.0円/ドル (2017/12)
- 売上高 : 材料事業を中心とした売上増。エレクトロニクス機能材料の増収に、高純度化学薬品の回復が加わる見通し。
- 営業利益 : 増収効果の一方、償却負担増、決算期変更に伴う費用発生から減益。

tok

事業別セグメント業績予想

18

(百万円、%)

	2016/12 実績補正	2017/12予想	
		増減	増減率
売上高	80,761	88,800	+8,038 +10.0
材料事業	78,842	86,100	+7,257 +9.2
I/O機能材料	47,318	49,600	+2,281 +4.8
高純度化学薬品	31,026	35,900	+4,873 +15.7
装置事業	1,918	2,700	+781 +40.7
営業利益	9,310	8,400	△910 △9.8
材料事業	12,448	12,000	△448 △3.6
装置事業	△333	△600	△266 -
消去又は全社	△2,804	△3,000	△195 -

(注1) 装置事業の売上は消去後の数字

(注2) 2016/12実績補正は、2017/12業績予想と比較できるように、3月決算会社（当社および国内連結子会社）の2017/3業績を、9カ月（2016/4~12月）として補正した試算値です。

設備投資・減価償却・研究開発

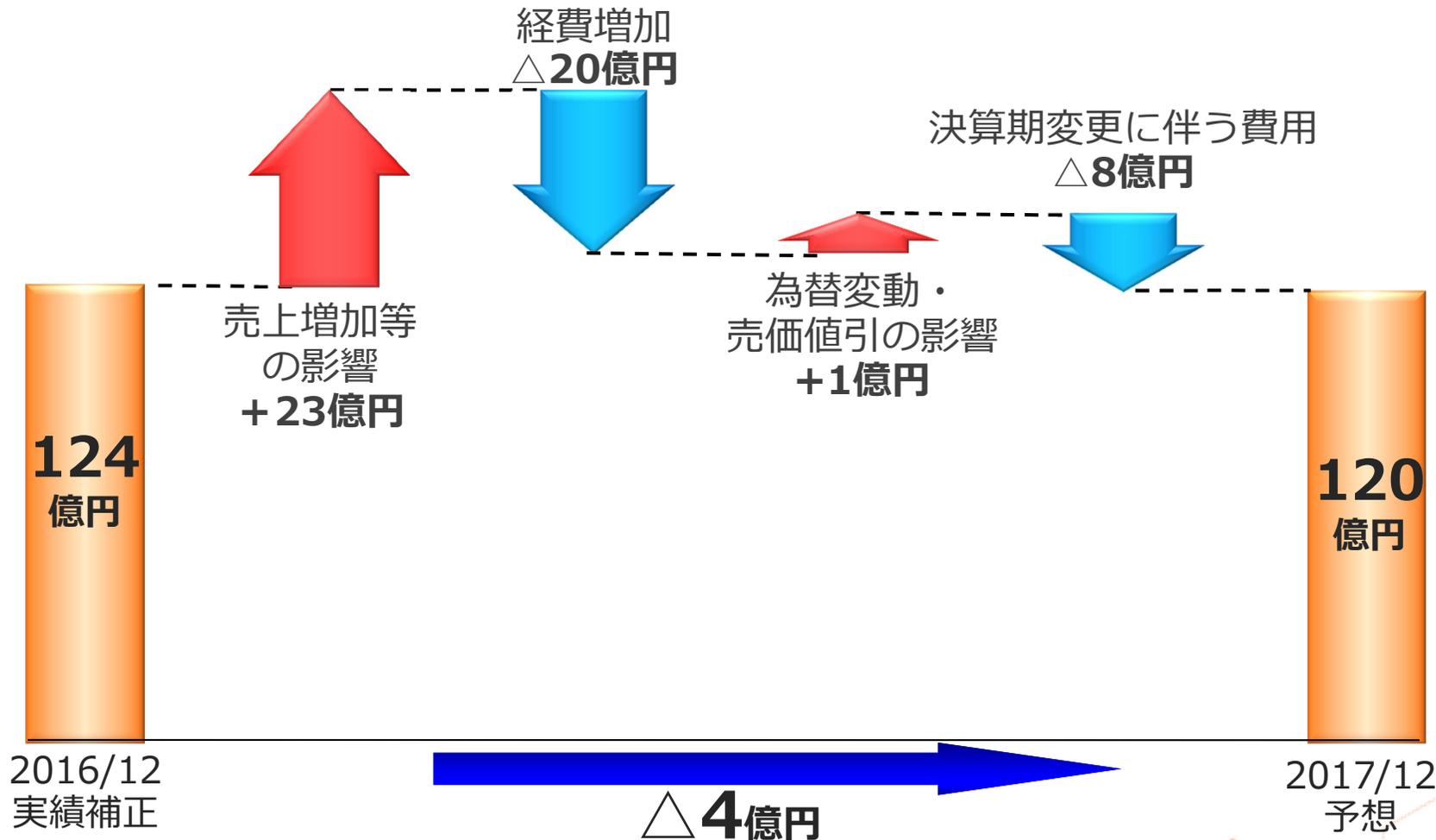
(百万円、%)

	2016/12 実績補正	2017/12予想	
		増減	増減率
設備投資	8,469	7,800	△669 △7.9
減価償却費	5,236	6,100	+863 +16.5
研究開発費	6,240	6,900	+659 +10.6

(注) 2016/12実績補正は、2017/12業績予想と比較できるように、3月決算会社（当社および国内連結子会社）の2017/3業績を、9ヵ月（2016/4~12月）として補正した試算値です。

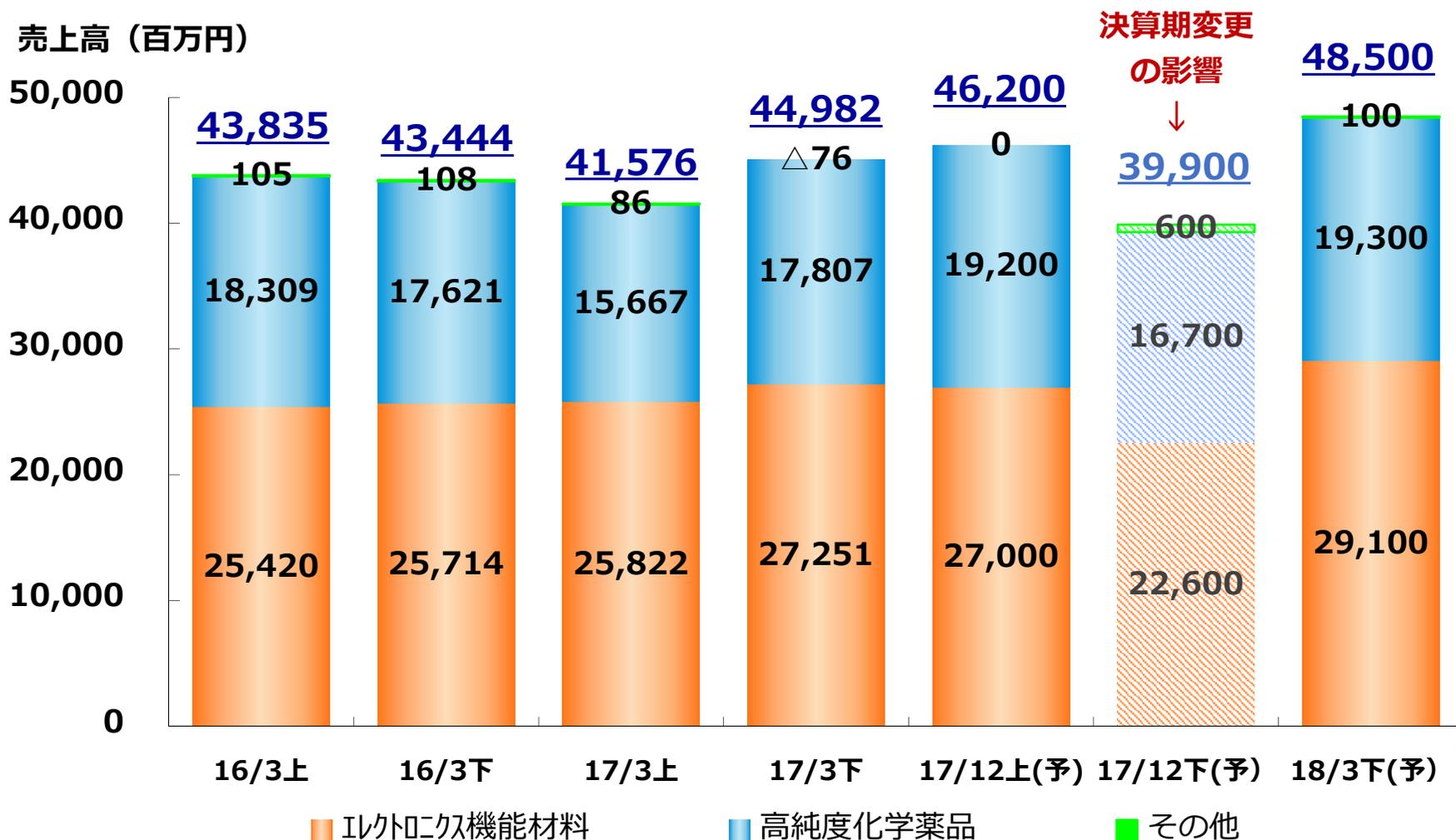
営業利益の増減内訳（材料事業）

2016年12月期実績補正 対 2017年12月期予想



(注) 2016/12実績補正は、2017/12業績予想と比較できるように、3月決算会社（当社および国内連結子会社）の2017/3業績を、9ヵ月（2016/4~12月）として補正した試算値です。

材料事業の売上内訳（予想）



(注) 通期予想から上期予想を差し引いて下期予想としています。

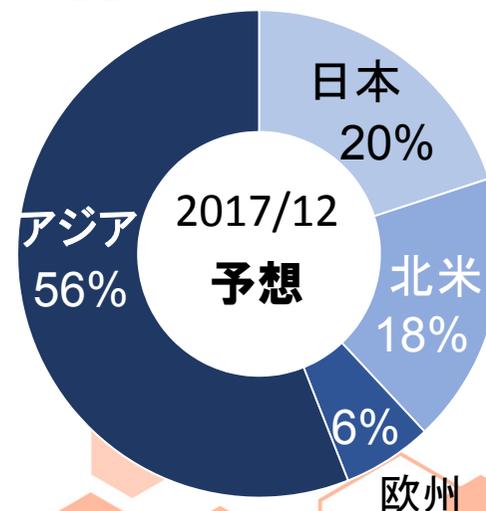
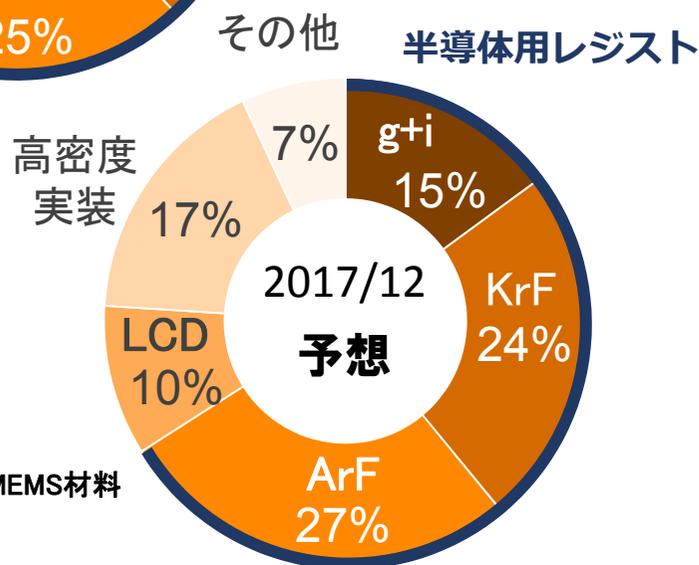
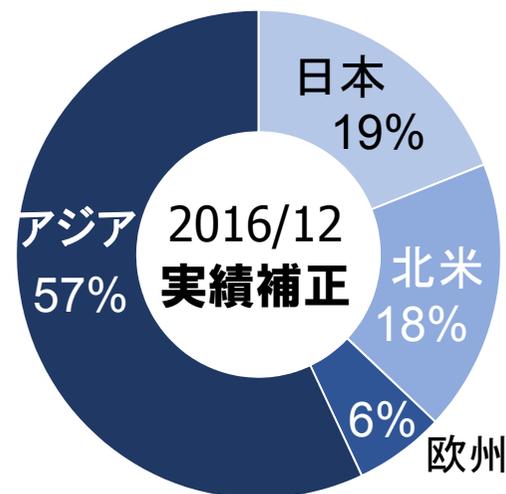
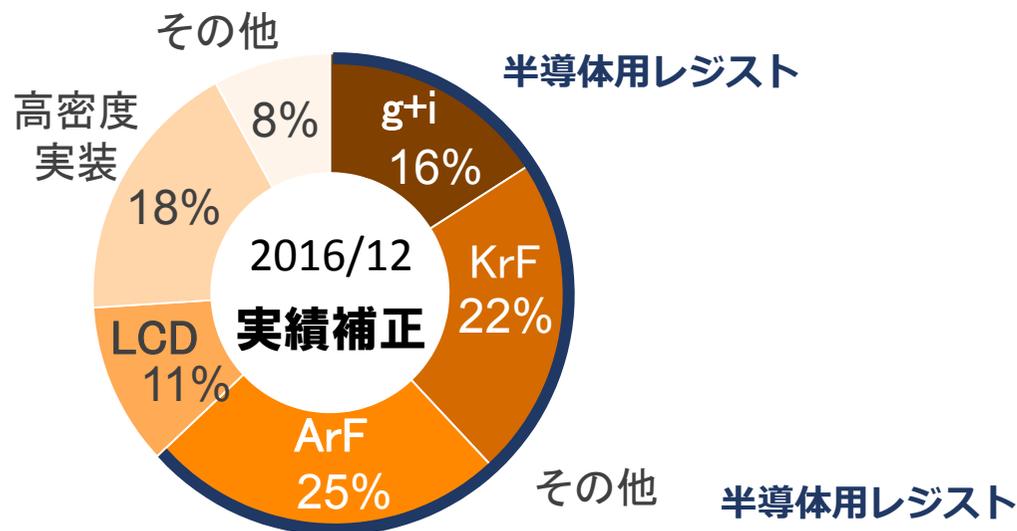
17/12下（予想）は17/12予想（国内9ヵ月、海外12ヵ月）から17/12上期予想（国内6ヵ月、海外6ヵ月）を差し引いています。

18/3下（予想）は18/3予想（国内12ヵ月、海外12ヵ月）から18/3上期予想（17/12上期予想と同じ）を差し引いています。

エレクトロニクス機能材料部門

エレクトロニクス機能材料の種類別売上構成

半導体用レジストの地域別売上構成



(注) 高密度実装:
レジスト材料、MEMS材料

(注) 2016/12実績補正は、2017/12業績予想と比較できるように、3月決算会社（当社および国内連結子会社）の2017/3業績を、9か月（2016/4~12月）として補正した試算値です。

tok中期計画2018の取組み

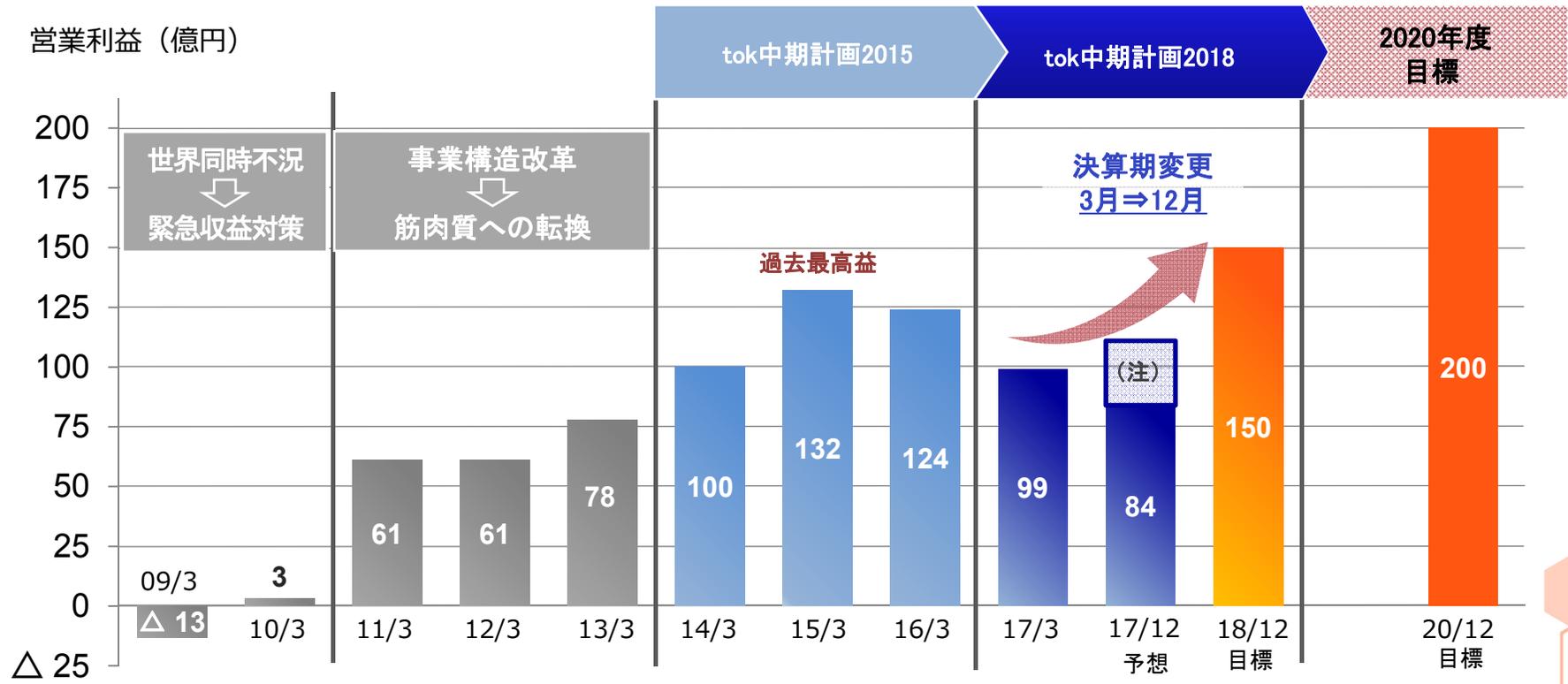
tok

© 2017 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD.



1.tok中期計画2018

決算期を変更予定、最終年度＝2018年12月期として、**最高益更新**を目指す



(注) 決算期変更を予定しているため、従来ベースの国内12ヵ月、海外12ヵ月を参考値として試算、掲載しています。
18/12目標は、tok中期計画2018（2016.5.10公表）の公表時の最終年度目標値です。

2.tok中期計画2018 初年度総括

25

全体
戦略

- ①事業ポートフォリオの変革
- ②顧客密着戦略の進化
- ③グローバルに対応できる人材開発の推進
- ④経営基盤の強化



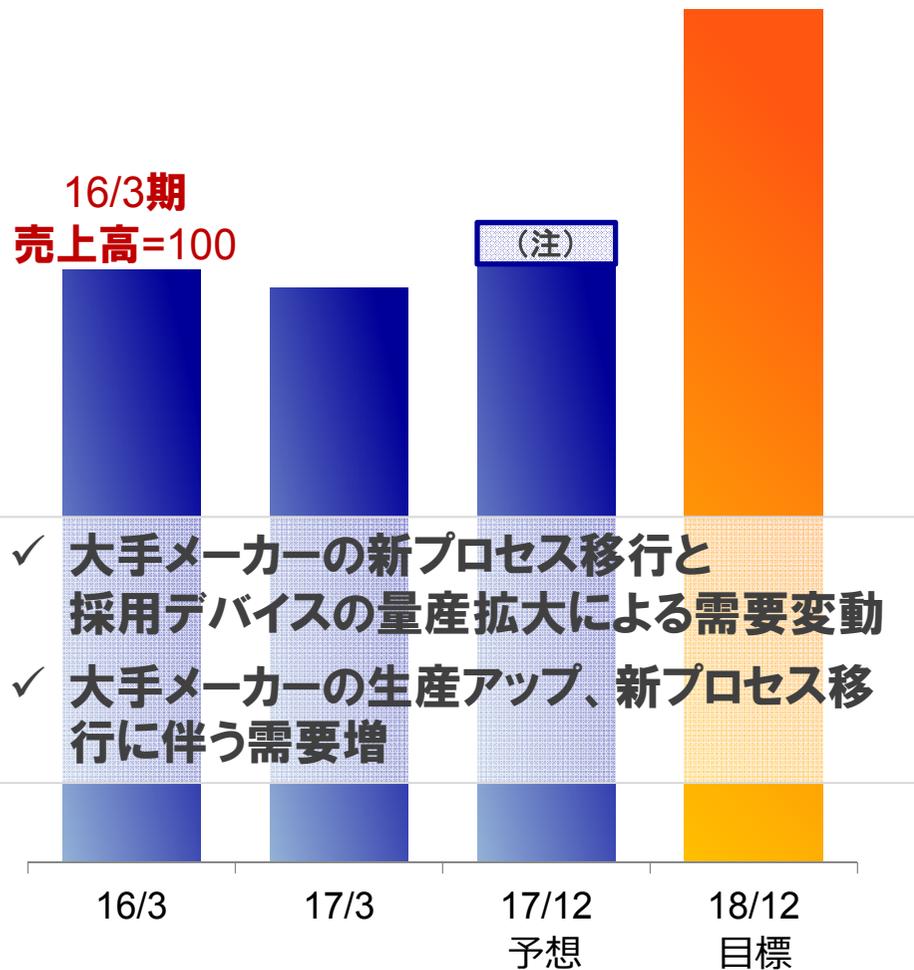
初年度総括 (2016/4~2017/3)

- 半導体用レジスト
 - ✓ ArFレジスト:販売拡大の端境期、R&Dインフラ強化
 - ✓ KrFレジスト:3D-NAND向け出荷増、売上高過去最高を更新
- 高密度実装材料 :中計目標を概ね達成、想定以上のペースで拡大
- 高純度化学薬品
 - ✓ 半導体製造用:最先端ノード向け生産設備増強
- 新事業/新規材料 :注力テーマの事業化進展
 - ✓ 機能性フィルム:新工場が完成、量産体制を整備
- 装置事業:有望ターゲットにおける装置開発、実機貸出等

3-1.ArFレジスト／KrFレジスト

■ ArF:売上推移

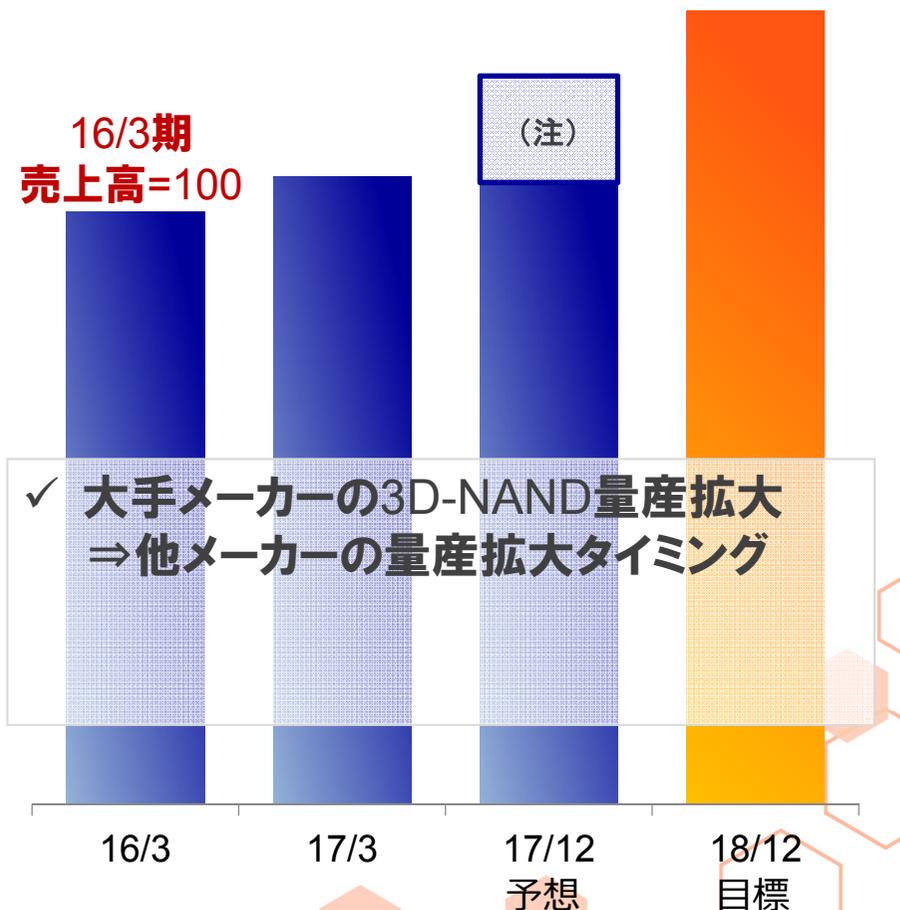
約1.5倍



- ✓ 大手メーカーの新プロセス移行と採用デバイスの量産拡大による需要変動
- ✓ 大手メーカーの生産アップ、新プロセス移行に伴う需要増

■ KrF:売上推移

約1.4倍



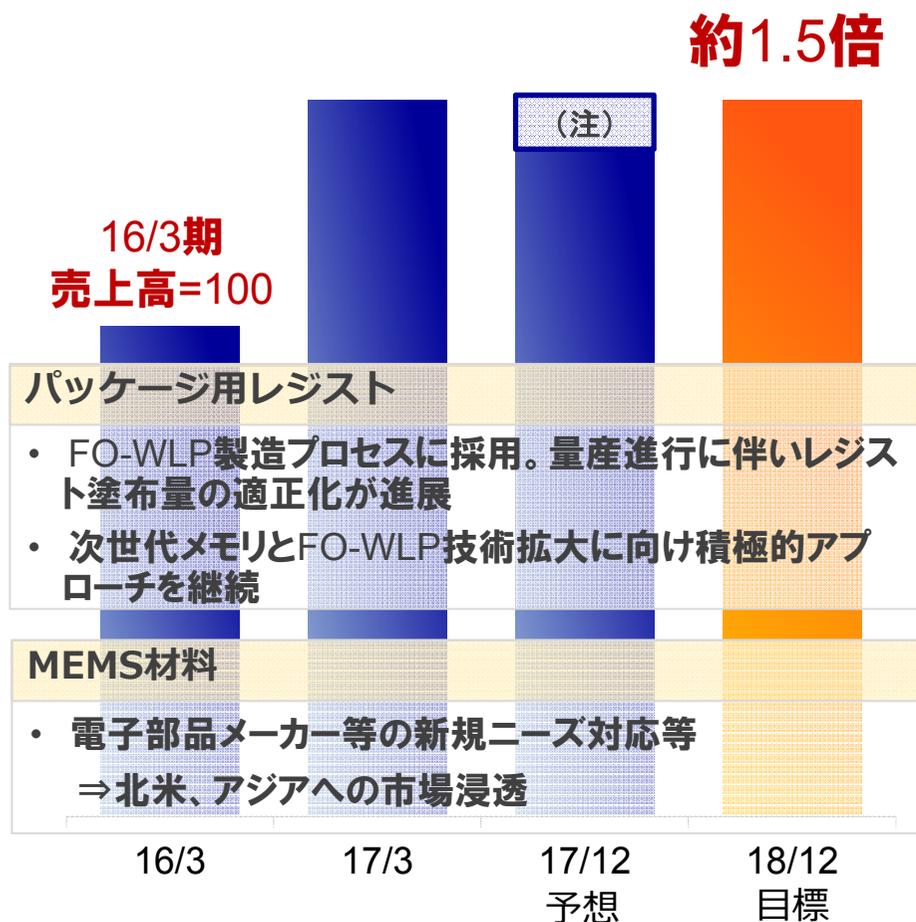
- ✓ 大手メーカーの3D-NAND量産拡大 ⇒ 他メーカーの量産拡大タイミング

(注)決算期変更を予定しているため、従来ベースの国内12ヵ月、海外12ヵ月を参考値として試算、掲載しています。

18/12目標は、tok中期計画2018(2016.5.10公表)の公表時の最終年度目標値です。

3-2.高密度実装材料

一旦踊り場的な局面を迎えるが、**事業成長性は不変**



MEMS材料量産設備完成
相模工場



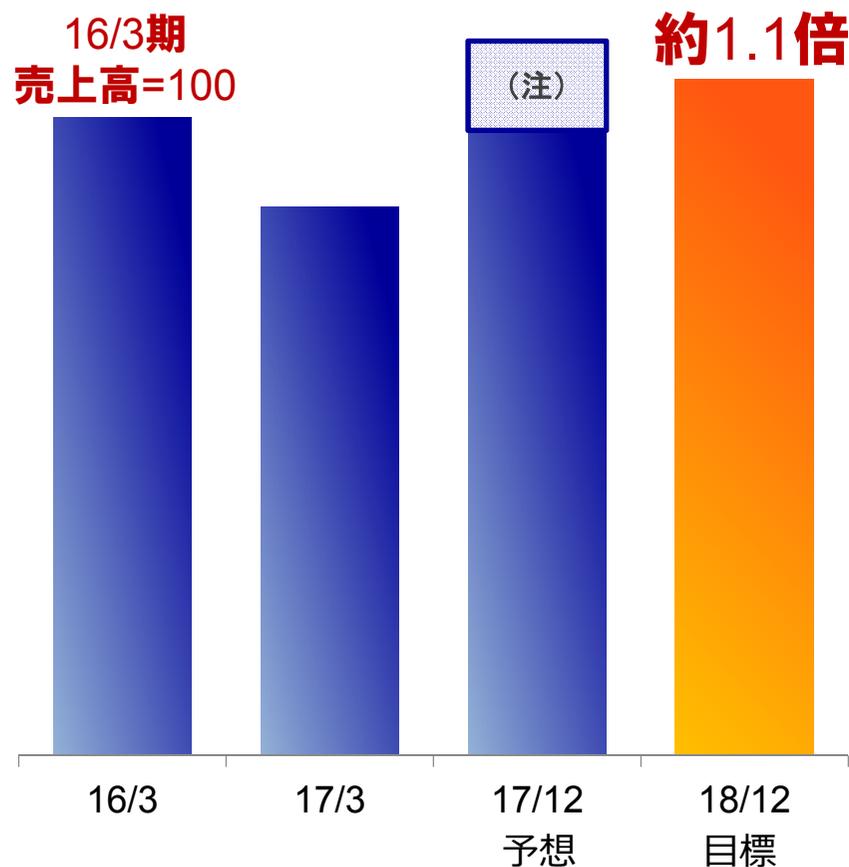
MEMS材料

(注) 決算期変更を予定しているため、従来ベースの国内12ヵ月、海外12ヵ月を参考値として試算、掲載しています。

18/12目標は、tok中期計画2018(2016.5.10公表)の公表時の最終年度目標値です。

3-3. 高純度化学薬品

プロセス移行等に伴う減少から急回復、顧客密着戦略が奏功



最先端ノード向け生産設備増強
台湾東應化社 銅鋳工場

(注) 決算期変更を予定しているため、従来ベースの国内12カ月、海外12カ月を参考値として試算、掲載しています。
18/12目標は、tok中期計画2018（2016.5.10公表）の公表時の最終年度目標値です。



4-1.株主還元

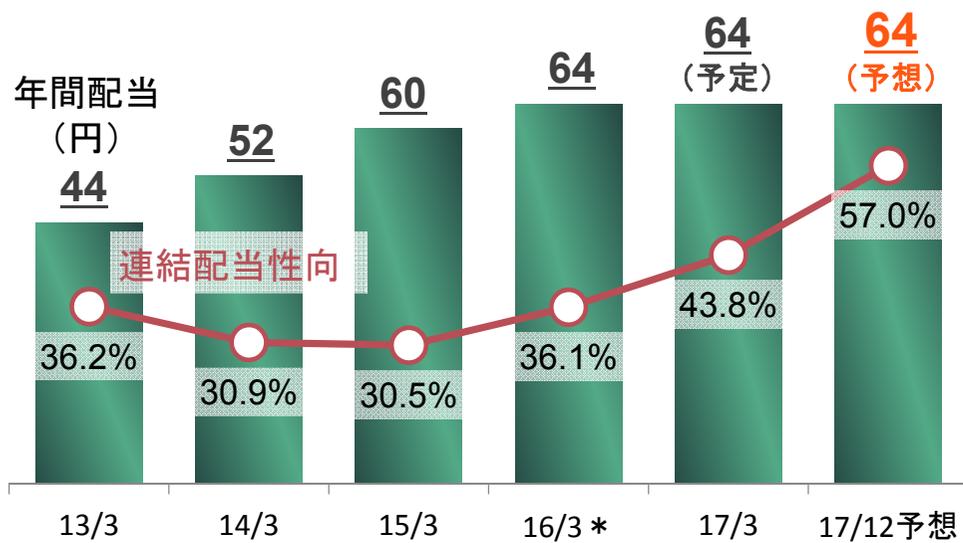
2017年12月期は9ヵ月決算ながら年間配当64円を予想、**実質増配**

配当政策・1株当たり年間配当（円/株）

- ・現在の水準を考慮しつつ連結配当性向40%以上の配当を継続的に実施していく。

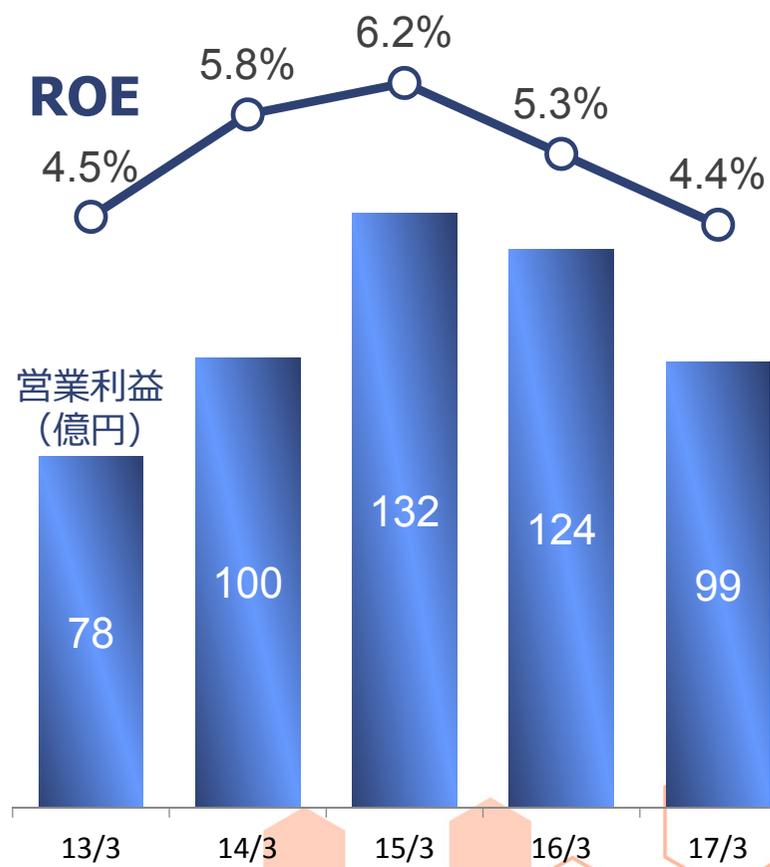
自己株式の取得

- ・自己株式の取得を弾力的に実施することとしますが、2017年3月期の実施はありません。



*: 2016/3は創立75周年記念配当4円/年が含まれております。

ROEと営業利益



<http://www.tok.co.jp/>

(ご注意)

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。したがって、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。